

日本作業科学研究 投稿規定

(2016年4月17日改定)

- (編集委員会) 日本作業科学研究会の機関誌「作業科学研究」(Japanese Journal of Occupational Science) の編集と発行に必要なことがらを行うため、編集委員会を組織する。編集委員会には、編集委員長を置き、編集委員は委員長の指名によって任命する。
- (資格) 投稿者(筆頭者) は原則として本研究会会員とする。ただし、依頼原稿についてはこの限りではない。
- (論文の種類) 投稿原稿は、作業および作業的存在に焦点を当てたものであり、作業科学の研究推進、学問的発展に寄与するもので、未刊行のものに限る。論文の種類は次の通りとする。
 - 総説：研究や調査論文の総括および解説
 - 研究論文：明確な構想に基づいた作業科学研究
 - 実践報告：作業科学の視点に基づいた報告と考察
 - 短報：萌芽的又は独創的な作業科学研究・プロジェクト
 - 資料：作業科学に関連する事柄の紹介、資料を含む
 - 書評：単行本や学術論文の紹介、抄録、評論を含む
 - その他：編集委員が適当と認めたもの
- (投稿手続き) 投稿者は原稿の作成、投稿、編集委員会からの通知を受け取る。
 - 投稿者は、投稿時には執筆要領が守られていることを確認する。
 - 原稿は、Word等の文書ソフトを使用して作成し、電子メールでファイルを送信する。
 - 投稿後2週間後までに原稿受理の通知がない場合は、投稿者が編集委員会事務局に連絡する。
 - 原稿受理の返信後2か月後までに掲載に関する通知がない場合は、投稿者が編集委員会事務局に連絡する。
- (原稿掲載の判断) 原稿掲載の判断および編集は編集委員会が行う。総説、研究論文、実践報告については、査読をへて編集委員会が掲載の可否を決定する。編集委員会が必要と判断した場合、字句の修正を行う。掲載の順番は、掲載決定日に基づき編集委員会が判断する。
- (査読) 機関誌の原稿について、一定の質を確保することを目的に査読を行う。
 - 査読の対象は、総説、研究論文、実践報告、短報とする。資料、書評、その他の原稿は査読を行わず、編集委員会が掲載の可否を判断する。
 - 査読は、編集委員会が応募原稿のすべてを読み、個々の応募原稿に適切な査読者を協議して決定する。応募原稿の執筆者となっている編集委員は、この協議には含まれない。
 - 査読プロセスは、投稿者に対する伝達を除き、非公開とする。
 - 編集委員会は、原則として一原稿につき2名の査読者を選定し、期限を付して査読を依頼する。
 - 査読者は、担当原稿について、「作業科学研究」の執筆要領と論文審査項目に沿って、掲載に関する判定を行う。論文審査では、投稿規程との適合性に加え、内容、方法、倫理的配慮、概念や用語の用法、文章表現、図表の内容と体裁、省略語や単位や数値、表題、引用文献の内容と体裁についての適切性を判定する。
 - 査読の判定結果(無修正で掲載可、修正後に掲載可、修正後に再査読、掲載不可)と査読者からのコメントを、編集委員会から投稿者に伝達する。
- (掲載費用) 採択された投稿原稿の図ならびに表のうち、改めて作成する必要がある場合、および、別冊については、当分の間、投稿者の実費負担とする。
- (著作権) 掲載されたすべての論文の著作権は本研究会に帰属する。
- (その他) その他の必要な事項については、編集委員会で決定する。

<編集委員会事務局>

青山 真美 (一般社団法人P&W研究所 アイアム)

E-mail: sagyoukagaku@yahoo.co.jp

日本作業科学研究 執筆要領

(2017年6月25日改定)

1. (原稿) 原稿は和文、欧文(英文を原則とする)のいずれかを使用し、文字の大きさを10.5ポイント以上、上下左右の余白を3cm程度とし、A4判の白紙に鮮明に印字する。和文原稿は、1枚あたりの字数を1200字(40字×30行)とする。英文原稿は、一般的フォントおよびサイズを使用し、行間はダブルスペースとする。1枚あたりの語数の目安は400語程度とする。漢字は、必要ある場合以外は当用漢字を用い、かなは現代かなづかい、送りがなを用い、句点はカンマ(,) 読点はピリオド(.)とする。改行の場合は1字あける。図表は印刷面積によって原稿枚数に換算する。和文原稿で外国語を原語で記載するときは、固有名詞やドイツ語の名詞など特別な場合を除き、半角文字で記載する。数字も半角文字とする。
2. (論文の種類と量) 枚数(本文)は、原則として次の通りとする。
 - (1) 総説: 20枚以内(図表を含む)(刷り上がり12ページ以内)
 - (2) 研究論文: 15枚以内(図表を含む)(刷り上がり9ページ以内)
 - (3) 実践報告: 15枚以内(図表を含む)(同上)
 - (4) 短報: 8枚以内(図表を含む)(刷り上がり5ページ以内)
 - (5) 資料、書評: 4枚以内(図表を含む)(刷り上がり1ページ以内)
 - (6) その他: 適量を編集委員会が判断する。
2. (著者) 著者名は5名までとし、それ以外は謝辞に含める。著者が複数の場合は、著者名をカンマ(,)で連ねる。アルファベットで書く場合は、名の頭文字を大文字、残りを小文字にし、姓はすべて大文字にする。
3. (表紙) 第1枚目を表紙とし、論文の種類、原稿の枚数、図表の数を記載する。表題、著者名、所属機関、連絡先(住所、メールアドレス等)については、日本語と英語で記載する。
4. (要旨) 要旨と、内容を示す適切なキーワード4以内を、日本語と英語で記載する。要旨は日本語では400字程度、英語では300語程度とする。
5. (構成) 論文は、論理的な構成で書き、必要に応じて見出しを記載する。原則として、研究論文では、はじめに、方法、結果、考察、文献とする。実践報告では、はじめに、実践の紹介(経過を含む)、考察、文献とする。論文のはじめに、
6. (図表) 図表は、必要最小限度にとどめ、重複をさける。本文と分けて作成し、原稿の末尾に添え、本文中の欄外余白に挿入箇所を赤字で指定する。図表は、表1, Table 1, 図1, Fig.1のように番号を付ける。図の表題は図の下に、表の表題は表の上に入れる。特に必要があれば、図は印刷の時の縮尺を明記し、掲載する部分を「枠」で示す。図は1ページ以内または複数ページにまたがることができる。また、ページ内に収まる場合は、ページ内上部または下部に示す。
7. (人名) 本文中の人名は、必要な場合を除いて姓のみを書き、敬称は省く。欧文綴りのときは、頭文字を大文字、その後を小文字する。本文中の引用箇所では、引用文献の著者と出版年を記す。記載例を示す。

作業科学研究では、特定の個人を作業的存在として理解する試みがなされている(Clark 他, 1999, 小田原他, 2011)。Polatajko (2010) は、作業について誰が、何を、いつ、どこで、どのように、なぜ、を理解することが作業の真の理解につながると述べている。
8. (文献) 文献は引用文献のみ記載する。記載は、著者名のアルファベット順とし、文献番号は付けない。各文献は、著者名、刊行年次、表題の順とする。単行本の場合には、表題の後に版数、出版社名(外国の場合は出版地も記す)を書き、雑誌論文の場合には、表題の後に雑誌名、巻数、ページを記す。雑誌名は省略せずを書く。編者がいる単行本の場合には、引用した章の著者名、刊行年次、表題、編者名、書名、版数、出版社名、章のページを記す。翻訳書の場合には、著者名の後に訳者名を書き、できれば原著の情報を記載する。書名および雑誌名は斜字体とする。ウェブサイト上の文献は、サイトのアドレスと参照日を記載する。記載例を示す。

Aoyama, M., Hudson, M.J. & Hoover, K.C. (2012). Occupation mediates ecosystem services with human well-being. *Journal of Occupational Science*, 19, 213-225.

Clark, F., Ennevor, B.L. & Richardson, P.L. (村井真由美・訳) (1999). 作業的ストーリーテリングと作業的ストーリーメーカーのためのテクニックのグラウンデッドセオリー. In Clark, F. & Zemke, R. (Eds.) (佐藤剛・監訳), *作業科学—作業的存在としての人間の研究*. 三輪書店, pp. 407-430.

小田原悦子, 辻郁 (2011). ある脳卒中者が経験した作業の変化～指向性～. *作業科学研究*, 5, 36-44.

Polatajko, H.J. (2010). The study of occupation. In Townsend, E.A. & Christiansen, C.H. (Eds.), *Introduction to occupation: The art and science of living 2nd ed.* Upper Saddle River, NJ, Pearson. pp. 57-79.

World Federation of Occupational Therapists (2012). Position statement on occupational science revised. <<http://www.wfot.org/ResourceCentre.aspx>> 参照日 2012.7.10.

吉川ひろみ (2008). 「作業」って何だろう. 医歯薬出版.

9. (脚注) 脚注は, 通し番号をつけ, 本文と分けて記載し, 原稿の末尾に添える. 脚注に対応する本文中の語句の右肩に上付き数字を記載する.